



私の好きな風景

11

スケッチ画と文

富士市美術協会

村林克津男さん

富士市中島一八七一九



曾我十郎橋付近

凡夫川は、身延線の入山瀬駅に差しかかるガード下を流れ、潤井川に注いでいる。上流には、あの曾我兄弟のあだ討ちで有名な曾我寺がある。

私は勤め先の関係で、何年かを朝な夕なに電車の車窓からこの風景を眺め、一度描いてみたいと思っていた。富士のすそ野らしく荒々しい彫りの深い沢も、今では民家や工場に囲まれてわずかにその面影を見るのみだが、朝の逆光も日の沈む夕景も美しく、私の絵心をそそる場所である。

八百年の昔、このあたりは草原か雑木林でもあったのであろうか。はるかに伊豆の海を眺めながら、巻き狩りで多くの若武者たちが駒を駆けさせた辺だと想像するだけでも楽しいが、今は紙の都として煙突が林立し、富士市を栄えさせている。

スケッチの日は、川辺のそこここから春の息吹が聞こえてくるようなひとときであった。

こちら編集室

組織の一員として働く私たちに、人事異動は至極当然当り前のことなのだけれど、それは人それぞれに悲喜こもごも。かく言うワタクシも、とうとう異動になりました。広報での5年間は、人と出会い

感じ考え、物を書く。そんな仕事を通して大勢の人から、人間としての成長のもとをいただいたように思います。最後の取材になった、バラ栽培に情熱を燃やす木又さんのお話と、バラジャムの味。懐かしく思い出しています。(餃子)

いよいよJリーグやプロ野球など多くのスポーツが開幕。本格的なスポーツシーズン到来です。私も2年間のブランクを返上して、最近テニスをやり始めたのだけれど、どうもボールが頭に描

勤が戻っていないだけだと思っていたが、しまいには腰とひざが痛くなる始末。やはり知らないうちに体が言うことを聞かなくなっているのかも・・・まずは温水プールへ行って、自主トレから始めようかな。

広報ふじは環境にやさしい再生紙を使っています